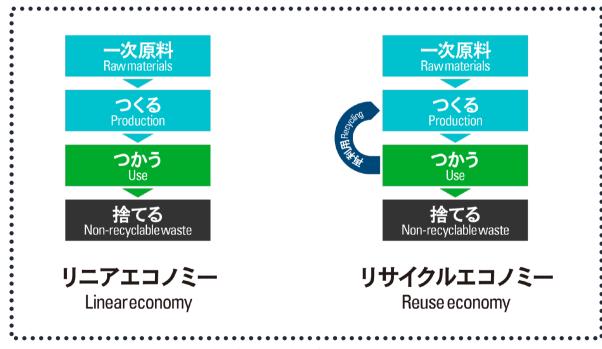
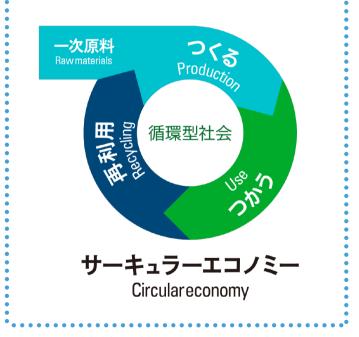




循環型のモノづくり社会を目指して

エクス・アドメディアが目指すものは循環型の社会です。従来の「生産→使用→廃棄」の直線型のリニアエコノミーや、一部のリサイクルを組み込んだリサイクルエコノミーといった経済サイクルは資源を大量に使用する構造です。当社のモノづくりでも大量に使用する木材や樹脂製品、紙製品も、元を辿れば有限の資源です。当社は資源を循環させて利益を生む「サーキュラーエコノミー(循環型経済)」の実行を、次の世代に向けての*社会的責任として認識しています。資源の無駄、遊休資産、まだ使用可能なのに捨てられる素材等の多くの「無駄」をなくし、資源循環で利益を生む持続可能なビジネスモデルを目指しています。





持続可能な循環型経済

従来型の経済サイクル

*世界の人口は急増しており、このまま作って捨てるリニアの社会を継続すると、2030年には地球2個分の資源が必要になると試算されています

イベントからはじめるSDGsな取り組み

一重にSDGsといえども「まず何からはじめたらいいか分からない」、「SDGs、サステナブルをどう利益に還元したら良いか分からない」といった課題がよくあることも事実です。主にイベント、展示会、内装に主軸を置いた当社のサステナブルサービスは、お客様の通常の実行計画に当社のバリューチェーンを加えていただくだけでサステナブルな施策を実行できますので、SDGs・サステナブルな取り組みの第一歩として導入ハードルがとても低くなっていることが特長です。





- 何からはじめればいいのか分からない
- ・ 社内に浸透しない
- どう使ったらいいのか分からない
- SDGsウォッシュにならないようにしたい
- SDGsで利益がでるのか分からない
- ・ 企業価値、ESG投資価値を上げたい

エクス・アドメディアなら

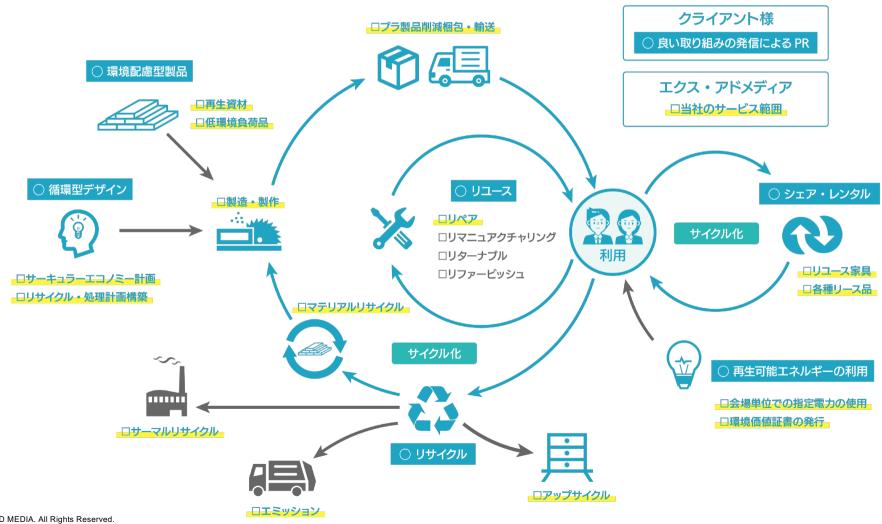


- 廃棄物の処理工程を変えるだけで無理 のない範囲で取り組める
- ・ イベントや展示会で実施できる施策な のでニュース性がありPR・広報活動に 転用しやすい
- *3Rを計画することでリニア消費では なく継続的なSDGs実行に取り組める
- *アップサイクルでの新たな価値創造が 見込める

*3R:リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)
*アップサイクル:副産物、廃棄物、役に立たないまたは不要な製品を、より良い品質と環境価値の新しい材料または製品に変換するプロセス

エクス・アドメディアのサステナブルサービス

エクス・アドメディアがつくる循環型サプライチェーンは、イベントや展示会、内装におけるはじまりの循環 型デザインから廃棄物の最終工程まで一連のサイクルが構築されています。お客様が実施する施策に対して必 要に応じたサステナブルなサービス、統合的な循環型サステナブルなサービス、どちらの提供も可能です。



エクス・アドメディアのサステナブルサービス





- イベントなどのSDGs・サステナブル企画のご提案
- 廃棄処理のゼロ・エミッション、リサイクル計画のご提案
- マニュフェスト、廃棄処理実績表の作成
- リユース、アップサイクルのご提案
- イベントなどにおける再生可能エネルギー利用のご提案

- ダイバーシティ理解のための外国語挨拶運動、社員のふるさと紹介会の実施
- 外国人の率先雇用
- SDGs 私募債を通じて障害者スポーツ協会へ寄付
- 廃材や端材を地域の保育園、アートセンター集に寄贈
- 事業継続力強化計画の認定付与
- 安全対策に関する防犯防災・安全・安全衛生の3委員会の設置
- Pマークの取得
- 感染防止対策商材の企画、開発、販売

イベントなどのSDGs・サステナブル企画

企業や行政をはじめとしてSDGsに関するイベントやマーケティングが近年増加していますが、特にイベントは催事・興業的な性格上、資源を多く消費することから環境に対する配慮もより必須事項となってきます。 エクス・アドメディアではサステナブル視点を持ったこれからの持続可能なイベントの企画をご提案します。

サービス内容

項目に無いSDGsに関することも、ぜひご相談ください



リアル/オンラインイベント SDGsに関する企画



備品のリース、サブスクリプション



環境配慮素材の利用



フードロス、廃棄物の削減



アップサイクルの提案



リサイクル素材による演出・設計

廃棄処理のゼロ・エミッション、リサイクル計画

イベントや内装工事における廃棄処理の*ゼロ・エミッション、リサイクル計画を行うことで、企業のSDGs活動、マーケティング活動に寄与することができます。特にイベントでのゼロ・エミッションサービスの提供はまだまだイベント業界では普及しておらず、他社とのSDGs/CSVの差別化、実質的なカーボンニュートラルやコンプライアンス確保の実数値と

サービス内容

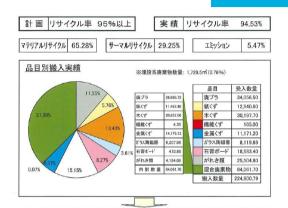
- ゼロ・エミッション、リサイクル計画のご提案
- 廃棄物のトラッキング

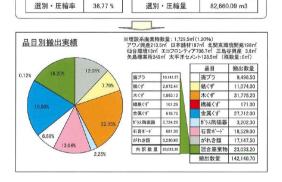
して計上することが可能です。

- ・ 廃棄処理、リサイクル実績書の発行
- マニュフェストの発行

*ゼロ・エミッション:ある産業から出た廃棄物を別の産業が再利用することで 最終的に埋め立て処分する廃棄物の量をゼロに近づけること

リサイクル実績書の例







リサイクル計画フロー



計画段階

企画・設計と同時にリサイク ル計画書を作成

実行・使用

撤去時の廃棄物管理として GPS、レコーダーによるト ラッキングが可能

処理工程

- ・マテリアルリサイクル
- ・サーマルリサイクル
- ・エミッション

上記各種への分別、中間処理を 経て最終工程へ搬出

報告業務

マニュフェストの発行リサイクル実績書の発行

3

廃棄処理ゼロ・エミッション、リサイクル計画

イベントや展示会、内装における廃棄物はさまざまな資源に生まれ変わる可能性があります。以下のリサイク ル品目は一部で、その他紙類、ガラス類、がれき類、繊維類などが対応可能です。

リサイクル品目の一例

金属くず 鉄スクラップと非鉄金属に分別し鋳造

品目: 鉄スクラップ リサイクル方式:マテリアルリサイクル(自動車部品など)

非鉄金属 マテリアルリサイクル(アルミ、ステンレス製品)

木くず 破砕機によってウッドチップ化

品目: 再生可 リサイクル方式:マテリアルリサイクル(パーティクルボードなど)

再牛不可 サーマルリサイクル (バイオマス燃料など)

プラスチック 粉砕、洗浄後に粒状化

品目: 再生可 リサイクル方式: マテリアルリサイクル(産業用再生品)

再牛不可 サーマルリサイクル (発電燃料化、フォーミング抑制材など)

石膏ボード 石膏分離機により石膏紛80%と剥離紙20%に分離

品目: 石膏紛 リサイクル方式:マテリアルリサイクル(新たな石膏ボード原料)

剥離紙 マテリアルリサイクル (再生紙原料)

> *マテリアルリサイクル:原料として再資源化し、製品原料などに再利用 *サーマルリサイクル:燃焼させることで、高い熱エネルギーを発生させ、発電などに再利用

















イベントなどにおける再生可能エネルギー利用

地球温暖化の原因となる CO_2 の削減は、いま世界中で喫緊の課題です。世界各地で CO_2 を出さない脱炭素型の社会に向けた取り組みが進められており、多くの国や企業が CO_2 排出削減目標を立て、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーに切り替えなど省エネに力を入れたりしています。

実はそうした CO_2 やフロンガスなどの温室効果ガスの排出を削減する「カーボンオフセット」を一時的なイベントでも取り入れることができます。

カーボンオフセットのメリット

企業様がカーボンオフセットに取り組むことで、次のような恩恵を得られます。

- 企業のイメージアップ、環境への貢献をアピール
- 他社との差別化
- 消費者にエコをアピールできる
- 取引先に環境付加価値を提供

● カーボンオフセット提供サービス

グリーン電力証書取得支援:イベントにおけるお客さまの再生可能エネルギー100%調達やCO2 排出量ゼロの達成を支援

提供環境価値	報告可能な国際イニシアチブ	実質再生可能エネルギー比率	CO2排出量
グリーン電力証書 取得支援	*RE100 CSR *SBT 第三者認証 *CDP	100%	実質ゼロ

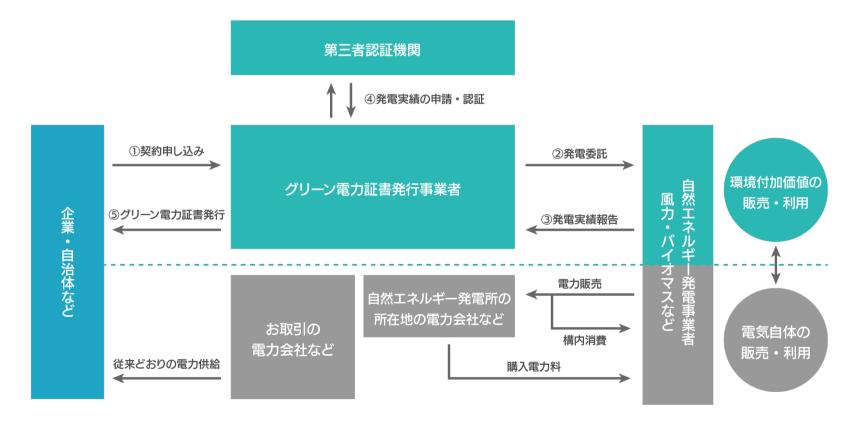
*RE100: Renewable Energy 100% 事業活動で用いる電力を全て再生可能エネルギー由来の電気にすることを推進するイニシアチブ
*SBT: Science Based Targets 世界の平均気温の上昇を「2度未満」に抑えるために、企業に科学的な知見と整合した削減目標を設定するよう求めるイニシアチブ
*CDP: Carbon Disclosure Project 質問書を送られた企業が回答、その回答内容を開示及び格付・評価するNGO

イベントなどにおける再生可能エネルギー利用

グリーン電力証書は、自然エネルギー(再生可能エネルギー:風力や太陽光など)で発電された電気の「環境 価値」を証書化したもので、証書発行事業者から購入します。

グリーン電力証書を購入することで、CO2排出削減に貢献しているという意思表明になるため、環境への関心を高めることにつながり、その結果自然エネルギーを普及・拡大することが目的の制度です。

● グリーン電力証書の仕組み



イベントなどにおける再生可能エネルギー利用

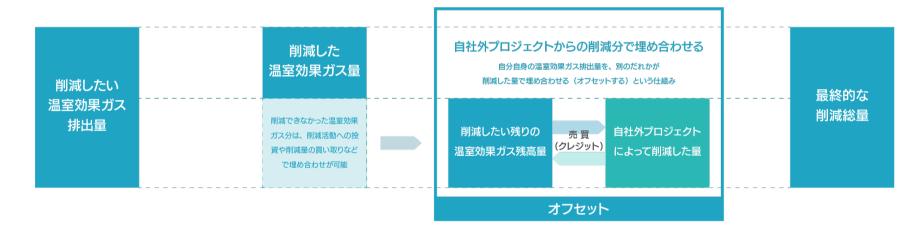


カーボンオフセットの仕組み

温室効果ガス 排出量算定

自社内での削減努力

削減できなかった排出量分を社外の排出削減量を調達、 オフセット(埋め合わせ)をすることで最終的な目標削減量に達する



カーボン・オフセットとは、企業などが自ら排出する温室効果ガスの量を、以下のような形で埋め合わせて削減(オフセット)する 考え方を指す。

- ・温室効果ガスの排出量を削減するための活動に取り組む
- ・ほかの企業などが実現した、温室効果ガスの削減量や吸収量(*クレジット)を購入する

つまりどうしてもゼロにできずに排出してしまった分の温室効果ガスの量の分だけ、他の温室効果ガスを発生させない太陽光や風力 発電などに発生させてしまった分を肩代わりしてもらい、実質的には排出量を土ゼロにするという仕組み。カーボン(炭素)オフ セット(埋め合わせ)と考えるとわかりやすい。